

2015年度 法科大学院

特待生入学試験問題

2 時限

民法

(論文式)

試験時間 60 分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の 1 ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各 1 枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[民法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

Aは、Y社の社員である。Aは、Y社の代理人としてY社が販売している商品の原料品を仕入れる権限を有している。Aは、この権限を利用して自らの利益を図ろうと考え、X社から原料品をY社の代理人として買い受けた。Aは、X社から仕入れた原材料を市場価格よりも安い価格で他に転売してその代金を着服した。なお、X社は、Aの着服の意図は知らなかったが、知らないことにつき過失があった。X社は、Y社に対して、右原材料の売買代金を請求したい。

設 問 1

(1) 代理の要件を挙げなさい。

(2) 上記事実関係のもとで、(1)の要件が充足されるかを検討しなさい。

設 問 2

かりにAによる代理が成立するとして、Y社は、X社がAの着服の意図を知らないことにつき過失があることを主張して売買代金の支払いを拒絶することができるかを検討しなさい。

(解答は全て解答用紙に記入すること)